

地域



トップ

北海道発

中部発

北陸発

関西発

九州発

地域 千葉 ニュース

迫る大口幻のサメ…鴨川シーワールド

2018年12月07日

Tweet

G+

0

全身骨格、7日公開



口を大きく開けた姿が再現されたメガマウスザメの全身骨格標本（鴨川シーワールドで）

**IPO実績で
選ぶなら、
MUFGです。**

お申込みは
三菱UFJモルガン・
スタンレー証券まで

詳しくはこちら▶

鴨川市の水族館「鴨川シーワールド」は6日、「メガマウスザメ」の全身骨格標本を報道機関に公開した。世界初の完成といい、口を大きく開けた姿を再現。7日から一般公開が始まる。

標本化したのは、館山沖で昨年5月22日に定置網の中に見つかり、翌日死んだ雌のメガマウスザメで、体長約5・4メートル、体重約1・2トン。捕獲例が少なく、「幻のサメ」といわれることから、同水族館が調査研究に役立てようと引き取って冷凍保存。サメの生態に詳しい仲谷一宏・北海道大名誉教授らが今年2月に解剖し、標本などを手がける民間の「吉田生物研究所」（京都市山科区）が仲谷氏の監修で作業を進めてきた。

同水族館によると、メガマウスザメは骨が水分を含んだ軟骨のため扱いが難しく、全身骨格の標本化はこれまで実現していな

かった。同研究所は今回、「プラスティネーション」と呼ばれる技術を利用。軟骨組織内の水分を常温で固化するアルコールに置き換え、組織を固めることで完成にこぎ着けた。

同研究所の吉田浩一取締役は「軟骨を解凍した上で形を復元する作業が難しかった」と話し、仲谷氏は「大型のサメのプラスティネーション標本としても世界初。口を開けて餌を食べるところを再現したのも初めてだ」と強調。同水族館の勝俣浩館長は「生態がイメージできる標本。ぜひ見に来てほしい」と呼びかけた。8日には仲谷氏の特別講演会が午後0時半から行われる予定だ。

今週のP



島耕作
農業用
ドロー
視察す



記事ラン

30分

池の水

ひどく

スバリ
か？3億円
裏

高橋は

ケリー

「早く